

2016年11月4日
日本シグマックス株式会社

ーオリジナル医療機器を日本からグローバル市場へー ドイツで開催される世界最大の医療機器展示会「MEDICA 2016」に 日本シグマックスが製造販売する医療機器 3 点を初出展いたします

日本シグマックス株式会社（本社：東京都新宿区 代表取締役社長：鈴木廣三）は、2016年11月14日（月）～17日（木）にドイツ・デュッセルドルフで行われる世界最大の医療機器展示会「MEDICA 2016」に、自社で製造販売する医療機器を初出展いたします。

【本件の概要】

政府が掲げる成長戦略『日本再興戦略 2016』において、世界最先端の健康立国を目指すために、日本発の医療機器のグローバル市場獲得は重要なテーマの1つとなっています。

日本シグマックスでは、操作性の良さやコンパクトさ、省力化など現場での使いやすさに特徴があり日本で評価されているオリジナルの医療機器について、アジアやヨーロッパにおける販路の開拓を狙い、今回 MEDICA に初出展いたします。



【会社概要】

日本シグマックスは「身体活動支援業」を企業使命に掲げ、1973年の創業以来40年以上にわたり、医療分野の中でも高齢化社会においてニーズの高まる整形外科分野に特化して、関節用装具などの外固定材、リハビリ関連製品などを製造・販売して参りました。1997年には医療機器分野に参入、自社初のオリジナル医療機器である「アイシングシステム 2000」を発売し、国内の整形外科領域にクライオセラピー分野（冷却によって早期回復をはかる治療法）の先鞭をつけ、シリーズ累計5000台以上を出荷しています。

コーポレートサイト URL : <http://www.sigmax.co.jp>

【出展予定製品】（詳細は添付資料参照）

・冷却療法用装置「アイシングシステム CE4000」

冷媒の循環により患部を効率よくかつ安全に冷やすアイシングシステムの4代目。前モデルに比べ約50%の小型化、約40%の軽量化、約50%の省電力化を実現し、より使いやすく進化しています。

・超音波骨折治療器「アクセラス mini」※参考出展

超音波の照射により骨折治療時の骨形成を促進する機器。本体と超音波を照射するプローブが一体化した超小型&オールインワン設計と、簡単な3ステップ操作で使いやすさを向上しています。

・汎用超音波画像診断装置「ポケットエコー miruco」※参考出展

超音波を用いて膀胱や肺など体内情報を画像化するエコー機器。ポケットに入るサイズのタブレットにプローブを挿して数秒で起動、直感的に操作できる設計で、在宅医療を含む現場での判断の可能性を広げています。

【MEDICA 出展情報】

会期：2016年11月14日（月）～17日（木）

会場：ドイツ・デュッセルドルフ見本市会場 ホール4 ブース番号：4F10

【本リリースに関する取材等の問い合わせ先】

日本シグマックス株式会社 海外事業部 中道 TEL：03-5326-3229



※当リリースは厚生労働記者会、厚生日比谷クラブ、および「PR TIMES」にて配信しています。

出展製品①冷却療法用装置「アイシングシステム CE4000」 ICING SYSTEM CE4000

冷却療法（クライオセラピー）とは？

・クライオセラピーは、スポーツ医学分野において 1950 年代から普及している、冷却することで患部の早期回復が期待できる治療法です。

・臨床現場では、1980 年代頃から方法論や効果の研究が進められ、整形外科分野を中心に普及が進んでいます。

・整形外科分野では、術創や受傷部の出血量・腫脹の抑制、リハビリテーション後のクールダウン、術後の疼痛緩和など、様々なシーンで活用されております。



<アイシングシステム CE4000 製品特長>

■安定した温度管理

設定した冷却温度をキープするので確実な温度管理が可能です。設定温度には電源を入れてから約 20 分で到達します（室温 25℃、冷却温度 5℃の場合）。クライオセラピーでは治療目的により理想の設定温度が異なりますが、0℃～13℃までの温度を自在に調整可能なので、効率的な治療を行うことができます。

■小型化・軽量化を実現

本体サイズは前モデルと比べ体積で約 50%、重量で約 40%の小型化・軽量化を実現しました。ハンドキャリーもよりしやすくなり、持ち運びの手間も軽減されております。また、付属のベッド用フックを使用することで、ベッドのサイドレールにも掛けることができるため、スペースの少ないベッド回りでもコンパクトに設置可能です。

■消費電力を大幅カット

術後の連続使用が多いアイシングシステムですが、CE4000 は前モデルに比べ 52.3%消費電力を抑えることに成功。長時間のご使用でも経済的です。

■結露対策を施したホースとパッド

断熱材を使用した CE4000 用ユニバーサルパッド、径を増やし断熱効果を高めた CE4000 用ホースを開発し、結露を抑える工夫を施しました。長時間のご使用でも衛生的です。



■簡単装着を実現するユニバーサルパッドを開発

CE4000 用ユニバーサルパッドは、付属のパッド固定用バンドを使用することで、患部に素早く簡単に固定することが可能です。様々な部位に固定できる形状で、患者様の体型や症例を選びません。

出展製品②超音波骨折治療器「アクセラス mini」

Accellus mini

超音波骨折治療とは？

- ・非常に出力の低い超音波をパルス状（断続的）に照射することで、骨折部の治癒を促進するという技術です。
- ・「骨は加えられた力（刺激）に反応し、成長、修復する」という「Wolff の法則」に基づいた治療法です。
- ・「超音波により機械的刺激を骨折部位に送ることで、骨折の治癒を促進する。」これが超音波骨折治療法の元となる理論です。
- ・治療は1日1回、20分の使用となります。
- ・超音波骨折治療器を使用しての超音波骨折治療法は、日本では「四肢の難治性骨折」と「四肢の骨折」への保険適用が認められています。



<アクセラス mini 製品特長>

■プローブ・本体が一体化したオールインワン設計

電源コードやプローブコードがなく、本体の大きさは53mm×50mm×33mm、81g というスマートでコンパクトな設計です。

■3ステップのイージーユース

本体を固定バンドにのせ電源を入れるだけで、毎日簡単に使用できます（本体と固定バンドは磁石で固定されます）。

■クレードルに置くだけの非接触充電

本体をクレードルの充電部に置くだけで、自動的に充電されます。1日の使用が終わったら、クレードルに戻すだけなので、毎日の治療の中でも手間がかかりません。



■超音波出力のチェック機能を搭載

日々の治療が正しく行えるか、クレードルで超音波出力の確認が行えるので、安心して毎日の治療に取り組むことができます。

出展製品③汎用超音波画像診断装置「ポケットエコー miruco」

ポケットエコー miruco

超音波画像診断装置（エコー）とは？

・超音波画像診断装置（エコー）は、超音波を発信して返ってくる反射波を画像化することによって、外からは見えない体の中を知り、診断に必要な情報を得るための装置です。

・レントゲンやCTのように放射線被ばくの心配が無く、診断・病態の把握から治療までの時間を短縮することから「第二の聴診器」の役割を果たすと言われています。

・画像を患者様にも見せながら説明をすることができるので、円滑な治療を実現するための強力なコミュニケーションツールでもあります。



<ポケットエコーmiruco 製品特長>

■コンパクト設計で持ち運びが楽

片手で持てて画像が見やすい7インチのディスプレイのタブレット（210mm×110mm）を使用。プローブも一緒に白衣やエプロンなどのポケットに入るコンパクト設計で、合計の重さも約460gと、持ち運びが楽にできます。

■操作が簡単ですぐに使用可能

プローブのケーブルをタブレットに挿すだけで、わずか数秒で起動しすぐに使えます。設定は目的（膀胱、肺、浅部、深部）と、体型（細身、標準、肥満）の2つをタッチパネルで選択するだけでよく、直感的な操作が可能。日本語表示・英語表示に対応しています。

■膀胱モード、肺モードをプリセットで用意

脱水等の体液管理、排尿管理等に役立つ「膀胱モード」と、慢性心不全、誤嚥性肺炎などの観察のための「肺モード」をプリセット。細かな設定をしなくても、すぐに現場で使用することができます。



■3時間連続使用可能で様々なシーンに対応

連続動作時間はフル充電時で約3時間と、病棟、往診、訪問看護など、使用シーンや場所を問わずいつでもどこでも使用することができます。※充電しながらの使用はできません

■通信を使って画像共有が可能

無線 LAN (Wi-Fi 等) 使用環境下で画像をメール送信したり、USB 接続でパソコンに画像を保存したりすることができ、情報や画像の共有や、現場での判断に活用できます。※通信は別途必要になります。